

報 会 同 窓 東 京 高 校

第 31 号 平成 29 年 2 月 発行

発刊にあたって

年齢を超えた同窓の集い

会長 鈴木 昇

(昭和 35 年卒)



英国のEU離脱、米国の大統領交代等世界は激変しており、我が国のこれからの形がこれまで以上に問われてきておりますが、皆様にはご清祥のことと拝察します。

さて、会長に就任して以来3年が経過しました。この間、我々執行部はこの伝統ある東京同窓会を維持・発展させ、本校に如何に貢献していくか努めてまいりました。

課題の一つは伝達の問題で、同窓生に如何にお知らせし参加して戴くか。もう一点は参加して戴くため更に魅力ある会にするにはどうするかと云う内容の問題であります。

まず伝達については、この会報を首都圏在住の同窓生と新卒業生に配付すると共に、一昨年から本校ウェブサイト「同窓会」項目を新設して戴き、このウェブサイトを通し、アップデートに活動予定と実績を広報し、参加を呼びかけてまいりました。更に、昨年より、長期的視点に立って新卒業生を総会懇親会に無料で招待することをお知らせし、卒業早々からの参加を呼びかけ一部の卒業生に出席戴きました。

一方、同窓会内容については、同窓会の大きな目的が、様々の分野に従事する同窓生が年代を超えて一同に会し、情報交換を行い、親交を深め、人脈を広げ視野を広めることにあることから、この懇親会設営に注力してまいりました。加えて、総会後に講演会を行い総会の充実を図ってまいりました。今回の35回総会後の講演会では小暮堅三医師(昭和25年卒)に「間違いだらけの茶の間の医学」と云うテーマで貴重な講演をして戴き、皆様、真剣にメモを取っておられました(講演内容は別稿をご覧ください)。

また、同窓会内容については、昨年より、「より楽しい同窓会」をコンセプトに観桜会、納涼会において、懇親会後にアトラクションを企画しました。今年の観桜会では早稲田大学竹友会OBの皆様による尺八・琴・三弦の邦楽演奏会を催し、納涼会では若手落語家の古今亭志ん吉さんをお呼びし寄席の雰囲気を楽しみ、共に好評を博しました。今年も、こういったアトラクションやミニ講演会を企画し、より充実した会に致します。

さて、国勢調査によれば、75才以上が14才以下を上廻ったとあり、少子高齢化が着実に進んでおります。我々同窓会も高齢化が進んでおりますが、その流れに沿って幅広い層が参加する同窓会を目指します。今年も楽しめる観桜会、納涼会、講演会、ゴルフ会を企画しております。館林高校ウェブサイトの「同窓会」をご覧ください是非参加下さい。

引き続き、本校と連繫をとり同窓会発展に努めてまいります。

第35回 定時総会

平成 28 年 10 月 29 日 (土) ホテルグランドパレスにおいて標記開催された。会員による総会后、ご来賓を迎えて講演会、懇親会が開催された。

今総会では、今年度に卒業した新同窓生を総会に無料招待する旨を案内したところ、1名の応募があり、浅野恭四郎君(静岡大学1年生)に参加いただいた。

1. 総会

鈴木昇会長(昭和35年卒)の挨拶後、小倉巧(昭和43年卒)氏を議長に選出し、招集通知で案内した議題について審議を行った。

議題は、平成28年度事業報告・決算報告・監査報告、役員増の提案、平成29年度事業案・予算案、その他、である。これらの議題は出席会員諸氏の協力により全て承認、可決された。

役員増の提案は、改選期ではないが、役員の中に活動できない人が出たことから、2名の方を新たに役員に登用する、役員補強の人事案を示した。新たに就任した役員は、昭和44年卒の野村茂雄氏、昭和45年卒の三井祥正氏で、いずれも副会長・広報担当として会務に当たる。

事業報告のなかで、年間2回実施している理事会は、家族の同伴参加を認め、併設企画として春の観桜懇親会では邦楽鑑賞、夏の納涼懇親会では落語独演会を実施した。いずれも大変好評で、家族の参加も認められたことと評価され、参加者増にも一役買った。

2. 講演会

講演は、昭和25年卒の小暮堅三(千代田町=旧永楽村出身、元東京都江戸川区医師会会長)氏を講師に、「間違いだらけの茶の間の医学」のテーマで行われた。

小暮先生の講演内容は、多岐にわたり様々の興味深い話題を提供していただいた。

中でも、総会出席者の多くが高齢者であることから、話は“生活習慣病”から発症する三大成人病「がん」、「心筋梗塞」、「脳卒中」さらには糖尿病、高血圧症、骨粗しょう症“痴呆症予防”等々、グラフや図表を多用した解り易い講演で、メモを取って聴講する人が見られたなど、大変興味深い内容であった。

3. 懇親会

鈴木攻本校同窓会副会長、高橋俊雄校長(県立館林高等学校)を始め本校同窓会各支部長及び他校同窓会関係者、会員が参加した。

鈴木昇会長から、改めて静岡から参加した現役大学生の浅野恭四郎さんを紹介しながら、東京同窓会としての活動報告が披露された後、鈴木攻副会長、高橋俊雄校長から近況報告がなされ、続いて鈴木敏男名誉会長(昭和23年卒)の音頭で乾杯し、和やかな雰囲気旧交を温め、新旧の校歌を斉唱して散会した。

4. 参加者

・来賓 14名 鈴木攻同窓会副会長、各支部長、高橋俊雄館林高校校長、他校同窓会関係者
・会員 37名

第36期 予算

(平成28年10月~平成29年9月)

収入の部

(金額単位:円)

科 目	金 額	備 考
前期繰越金	5,460	
年会費収入	480,000	160名×3千円
総会費収入	280,000	40名×7千円
懇親会収入	450,000	観桜会40名×6千円 納涼会35名×6千円
広告料収入	60,000	20件×3千円
雑収入	320,020	祝い金、寄付金、預金利息
合 計	1,595,480	

支出の部

科 目	金 額	備 考
総会運営費	390,000	40名×7千円 他
懇親会運営費	450,000	観桜会40名×6千円 納涼会35名×6千円
印刷代	490,000	
通信費	120,000	
交流費	80,000	
雑費	50,000	
次期繰越金	15,480	
合 計	1,595,480	

平成29年度 事業計画(36期) 平成28年10月~平成29年9月

年 月 日	事 項	場 所
平成28年10月29日	第35回定時総会	ホテル グランドパレス
11月10日	東京同窓会懇親ゴルフ	大宮ゴルフコース
11月5日	本校同窓会総会参加	館林市・ジョイハウス
12月	役員会	
平成29年2月	役員会	
2月	第31号会報発行	
4月	第1回理事会・観桜会	
5月10日	本校同窓会ゴルフ会	板倉ゴルフ場
6月	役員会	
7月	第2回理事会・納涼会	
9月	役員会	

注) 首都圏東毛3校会、本校同窓会各支部、他校首都圏同窓会との交流等は随時行う予定です。

間違いだらけの茶の間の医学と ピンピン長寿のヒケツ



昭和 25 年卒 小暮 堅三

本日は貴重な同窓会総会講演にお招き頂きありがとうございます、光栄に存じます。と同時に昭和 25 年卒ということは同窓会員としても最高齢に近い年齢と思います。そんな状況の中で、同級生の顔が数人見受けられることは大変懐かしく胸にこみ上げてくるものがありました。

ところで、今日の講演内容については、いろいろ考えましたが、こんな世の中なので情報があふれております。特に、健康面の情報はテレビから新聞、週刊誌に至るまで毎日溢れています。これでは一般の人はどれが正しいのか判断に迷うと思い、敢えて、こんなテーマを選んでみました。

◆人間は何歳まで生きられるか

いま、私たちが健康に注意すると言っても、

何か指標が無ければ理解しにくいと思いますので、図を使って説明したいと思います。

私たちが高校を卒業した頃は「人生 50 年」というのが常識でしたが、今は 120 歳まで生きられるということが証明されています。更に最近のアメリカの研究論文によると、将来は 125 歳まで延びる可能性があるとのことです (図 1)。

日本では長寿県といえは沖縄県が有名でしたが、アメリカの軍事基地が増えマクドナルドの店が増えてから沖縄県は 7 位に後退してしまいました。

この辺で私達と切っても切れない動物の寿命を知っておくことも意義のあることでしょう (図 2)。

平均年齢 男 80.79 (世界 4 位) 116 才 (大川)
女 87.05 (世界 2 位) 117 才 (木村)

120 才 (学問的)

(例外) ジャンヌ・カルマン (122 才) フランス
125 才 (将来の限度年齢)

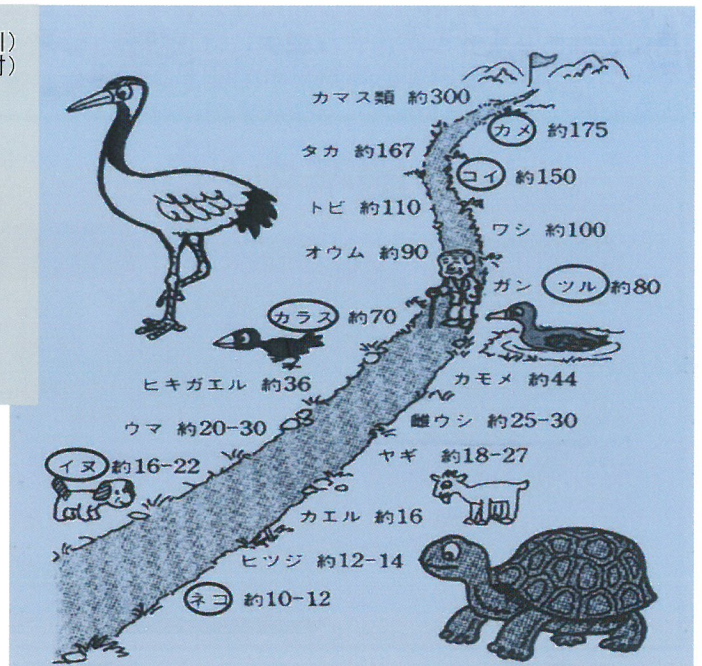
(長寿県)

- 1 位 長野県
- 2 位 福井県
- 3 位 奈良県

(マクドナルドの店が増えて)

メタボが増えたため 7 位 沖縄県

↑ 図 1 人間は何歳まで生きられるか



→ 図 2 動物の寿命 (数字は年)

- 1) 高血圧症と脂質異常症(含メタボリック症候群)
- 2) 心臓病 (死亡順位 2位)
- 3) 糖尿病
- 4) 脳血管障害 (死亡順位 3位)
- 5) がんについて (死亡順位 1位)
食道がん、胃がん、大腸がん
肺がん、前立腺がん、肝臓がん
乳がん、卵巣がん、子宮がん
- 6) 排尿障害について(男女)

図3 「生活習慣病」

◆生活習慣病とは

健康を守ると言っても具体的な指標が無ければ守る方法が解りません。それは何と言っても生活習慣病を中心に対策を立てることです。頭を整理する意味で生活習慣病と言われる疾患をまとめてみると次のようになります(図3)。

生活習慣病について、いちいち説明したのでは時間も無いし、印象にも残らないのでいくつかの事例を挙げて説明して行きます。

人間は寿命で亡くなるのは美德とされますが、急病で亡くなるのは生命を冒瀆したことになります。急病対策はぜひ理解しておいてください。急病対策の代表的な疾患は、脳疾患と心臓病です。どちらも心がけ次第で救われるケースが多いので、かかりつけ医とよく相談し、健康な時から急病対策は頭に入れておいてください。

◆前兆があるポックリ病

ポックリ病(図4)と言うのは正式な医学用語ではありませんが、状況説明には理解しやすいので、一般の人の会話の中にはよく出

ポックリ病 : 24時間以内に原因不明の病気で急死した場合を言う

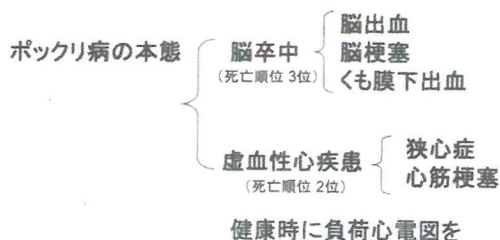


図4 いびきをかく人はポックリ病に注意

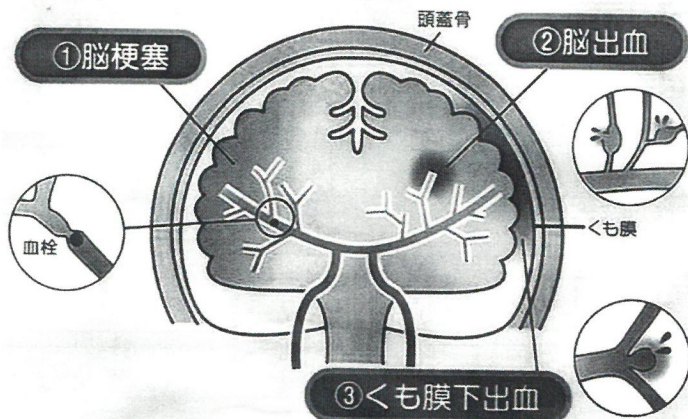
てくる言葉です。

では、ポックリ病の本態は何かというと、それは脳卒中と虚血性心疾患のことです。ところが、どちらもよく解らない言葉なので解説しますと、図4のように脳卒中と言うのは、脳出血と脳梗塞とくも膜下出血の3つの疾患をひっくるめてそう呼んでいるのです。また、虚血性心疾患と言うのは親しみにくい言葉ですが、狭心症と心筋梗塞を合わせてそう呼んでいるのです。

大切なことは、どちらの疾患も何らかの前兆があります。いびきも立派な前兆のひとつです。いびきをかく人をよく観察すると、しばらくいびきをかいた後、呼吸が止まりしばらくすると大きな深呼吸をします。

それは身体の中で不足した酸素を補うために深呼吸するのですが、その酸素不足が脳疾患や心臓疾患の原因となるのです。従って、平素よくいびきをかく人は症状は何もなくと

脳卒中とは



- ① 脳梗塞 脳の血管に血液の塊(血栓)が詰まる。脳卒中の中でも患者数が最も高い。
- ② 脳出血 脳の細い血管が破れて出血する。50~60歳代を中心に起こる。
- ③ くも膜下出血 脳の太い血管にできたこぶが破裂して出血する。女性の方が発症しやすい。

図5 脳卒中の概要

も、脳と心臓の精密検査は受けておかなければいけません。

脳卒中の中で一番多いのが脳梗塞ですが、脳出血、くも膜下出血を理解するために図5の絵を作りました。よくご覧になって理解して下さい。幸い、今はMRIという診断装置が発達しているので早期診断が可能です。この方法も主治医とよく相談して下さい。

◆**血圧の問題**

どちらの疾患にも関係しているのが血圧の問題です。血圧は比較的安易に考えられておりますが、今は情報が多すぎて、血圧の正常値すらはつきり理解していない人が沢山おります。この辺で、血圧ぐらいいはきちんと覚えておいてください(図6)。

そして高血圧症にもいろいろのタイプのあることも理解しておいてください。高血圧症に対しては治療法もいろいろあり、自分にはどの治療法が良いのか主治医の先生と相談することをおすすめします。最近、よく質問されるのが「血圧の薬は一生飲み続けなければいけないのですか」ということです。

正にケースバイケースで、血圧のコントロールが良くなって数年で薬が止められる人もあれば、休薬するとすぐ血圧が上がってしまうタイプの人もあります。

血圧の上がるタイプの人を図7に示すように、遺伝体質があってそれにプラスαの部分加わって発病するので、そのαの部分を実面目に一つずつ消して行けば血圧は正常範囲に戻るわけで、その後永く血圧が正常に戻り高くない状態が続けば理想です。

私のところでも3人ほど、血圧の薬を止めた方がおりますが、その3人は未だに血圧は

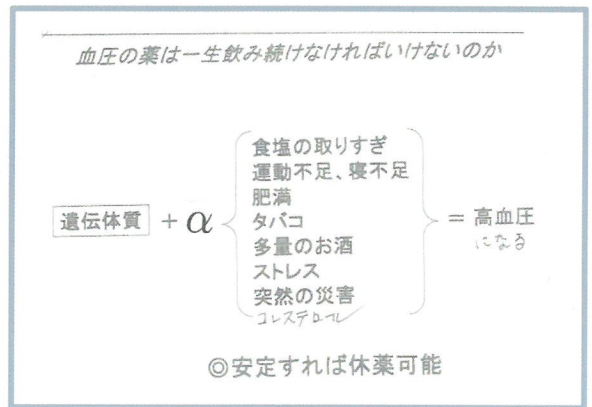


図7 高血圧になる原因

上がってきません。休薬して3年になりますので、このまま休薬できると思います。

◆**コレステロールの問題**

血圧に続く問題がコレステロールです。コレステロールは高血圧の患者さんには嫌われものになっていますが、コレステロールは、身体の原料になったり、ホルモンを合成したり、人が生きるのに欠かせない重要な成分なのです。

では、なぜ悪玉と善玉と分けて呼ぶのだろうか。実は、悪玉(LDL)はコレステロールを全身の組織に届ける「運び屋」、善玉(HDL)は余ったコレステロールを回収する「掃除屋」で、それぞれ別の役割を担っているのです。

回収されない余分の悪玉コレステロールが危険なのです。この悪玉コレステロールが心臓の血管などに溜まると問題なので、その予防が大切なのです。では日常生活上の注意点は、図8に示すようなことです。

コレステロールが多いからとすぐ抗コレス

高血圧は静かな殺し屋

(サイレントキラー)

140-90(正常人)

135-85(糖尿病などの病気のある人の目標値)

高血圧のタイプ	早朝高血圧 家庭高血圧 職場高血圧 夜間高血圧 白衣高血圧
---------	---

図6 高血圧のタイプ

1. 運動(犬の散歩は無効)
15分以上続けて歩くこと
2. 酔いもの
3. アルコール類(善玉を増やす) 適量
4. ビタミンE(小さな血管の血流を良くする)
5. ヘルシア緑茶
健茶王
黒ウーロン茶
6. 抗コレステロール剤を使う

図8 コレステロールを下げる方法

(昔) 絶対安静 ⇒ (今) 高度専門病院へ

救急車の対応の仕方 (5分 30 秒)

専門病院の診察券を持つこと

かかりつけ医とよく相談することが大切

図 9 知っておきたい急病対策 (脳卒中、心臓病)

テロール剤を使うのではなく、日常生活上注意できることはきちんとその対策を守ることが大切、飲み物一つにしても単なるお茶ではなく黒烏龍茶を飲むなど地道な対策が必要です。

いろいろ予防はしていても、いつ脳卒中や心臓発作に襲われるかわかりません。発作には絶対安静と言うのが昔の教えでしたが、今は高度医療を受けられる専門病院に搬送するというのが救命の鉄則です。

救急車を要請すると5分30秒以内で救急車は到着します。あとはかかりつけ医の力で3次救急の病院に搬送していただければ、救命の目的は半ば達せられたこととなります。あとはその人の運命です (図9)。

◆ゴルフ場の突然死はどこで起きるか

話は変わりますが、趣味のゴルフ医学について情報をお知らせします。疑ったり、信じたりして目を通してください。結果の数字はすべて事実であることを申し添えておきます

順位		%
1	グリーン周りのアプローチミス	45
2	スタートホールのティショット	12
3	風呂場、入浴直後の3分以内	11
4	グリーン上のパッティング	8
5	二次会場(ここからはゴルフ以外)	12
6	帰宅途中	3
	その他 (泥酔など)	8

(小暮堅三調べ 調査対象者数 63名)

図 10 ゴルフ場の突然死はどこで起こるか

1. 年齢 50歳前後、肥満体の人
2. ハンデキャップ 20以下~7
3. 寝不足の人
4. 几帳面で多忙な人
5. 面倒見の良い人

図 11 突然死を起こしやすい人

(図10、新聞には発表済み)。

さらに、不幸にして突然死を起こした人のバックグラウンドを調査してみたところ、図11の表のような結果が出ました。私が一緒にラウンドしていて最終ホールのグリーン周りで倒れた人はハンデ7の病院長で、アプローチがトップしグリーン上を突き抜けてグリーン先のバンカーに入った瞬間倒れました。

☆

本日の講演はこれで終わりですが、ご清聴ありがとうございました。最後に私の生きる指標を発表して終りと致します。「カ、キ、ク、ケ、コ」です。

- カ：感動
- キ：興味
- ク：工夫
- ケ：健康
- コ：恋心

[私が推薦する本]

書名：東大名誉教授の私が「死ぬまでセックス」を進める本当の理由
 著者：石川隆俊 (東京大学名誉教授)
 出版社：マキノ出版 2016年8月31日発行
 定価：1,300円

こぐれ けんぞう：東京都江戸川区在住。邑楽郡千代田町 (旧永楽村) 出身。館林高校昭和25年卒、順天堂大学医学部卒、医療法人社団孝仁会小暮医院院長、元東京都江戸川区医師会会長、日本女子プロゴルフ協会医療顧問



館林高等学校東京同窓会名誉会長
群馬県人会連合会特別顧問
上毛倶楽部副理事長

鈴木 敏男 (23年卒)

連絡先 〒121-0816 東京都足立区梅島 2-7-4
電話 / FAX 03-3886-8931
E-mail t.suzuki@nanayojapan.co.jp

元東京都江戸川区医師会会長
日本女子プロゴルフ協会顧問医

小暮 堅三 (25年卒)

〒133-0042 東京都江戸川区興宮町 16-13
電話 03-3653-5347

震災予防研究会

代表 荒井 昭 (27年卒)

〒177-0045 東京都練馬区石神井台 2-32-20
電話 03-3996-8122

葭葉法律事務所

辯護士 葭葉 昌司 (27年卒)

〒106-0031 東京都港区西麻布 3-21-20
霞町コーポ 903号室
電話 03-6447-0446 FAX 03-3403-0675

学校法人 関西外国語大学
関西外国語大学・大学院
関西外国語大学短期大学部

教授 内田 信也 (30年卒)

自宅 〒177-0044 東京都練馬区上石神井 1-3-16
電話 03-3594-1173

社団法人 日本バーテンダー協会
国際バーテンダー協会 (I.B.A) 加盟

名誉会員顧問 長谷川 馨 (33年卒)

カクテル&ワイン K I Y O M I
〒140-0014 東京都品川区大井 1-10-1
電話 03-3772-9531

株式会社 鈴木

取締役会長 鈴木 勝也 (33年卒)

〒111-0051 東京都台東区蔵前 3-12-9
電話 03-3863-0120
FAX 03-3863-0139
E-mail k-suzuki@suzuume.co.jp
http://www.suzuume.co.jp

館林高等学校東京同窓会会長
日本書道普及連盟

評議員 鈴木 昇 (35年卒)
(龍道)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-16-9
トーアビル 206
電話 03-3261-3121

株式会社 桂設計

オーナー
会長 太田 勝利 (35年卒)

本社 〒162-0806 東京都新宿区榎町 43-1
ユニソ神楽坂ビル
電話 03-3269-6411 FAX 03-3269-6424
E-mail k.ota@katsurasekkei.co.jp
http://www.katsurasekkei.co.jp

弁護士法人 相澤・藤井法律事務所

辯護士 相澤 建志 (36年卒)

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-2-22
電話 03-3574-0880 (代)
FAX 03-3572-0028
E-mail aizawa-1-o@nifty.com

特別寄稿



館林高校 ～ 今とこれから

群馬県立館林高等学校長 高橋 俊雄

この度は、「館高東京同窓会会報」第31号の発行、誠にありがとうございます。既刊の会報を拝読させていただき、東京同窓会の歴史・文化、支部活動そして支部会員の皆様のご活躍等が掲載され、充実した素晴らしい同窓会活動を伺うことができました。

館林高校は今年で創立95周年を迎え、数多くの有為な方々が本校を卒業し、県内を始め全国各地で活躍されております。5年後には創立100周年記念事業を予定しており、記念誌、卒業生名簿の作成、記念講演会の講師依頼、記念事業等の検討を始めたところがあります。

本校は文武両道をモットーに、生徒及び職員が一丸となって学習活動及び部活動に日々励んでいます。現在の生徒定員は、全日制課程は1学年：40名×6クラスで240名、定時制課程は1学年：40名（男女）です。生徒は素直で、マナーも大変良く伝統と特色のある教育活動に全力で取り組んでいます。

特に定時制は4年制であり、昼間は仕事に従事している生徒が多く、現在は52名が在籍し落ち着いた学習環境（授業・部活動）で過ごしています。

平成28年度の開校記念講演会（全日制、定時制）には、公私ともにお忙しい中を、全日制は相澤建志様「人生を変えた出会い 強めて息まず」、定時制は小幡洋次郎様「好きこそもの上手なれ」との演題のもと、生徒にとっては将来に繋がる夢と勇気、そして輝かしい未来への可能性を示唆していただきました。今後も、多くの同窓生に生徒への激励や暖かい支援をお願いし、本校の発展と健全育成の推進をお願いします。

学習活動においては、1日45分授業を7コマ実施しています。また、学力補完として、朝課外や放課後課外で、基礎学力の充実と発展的な学習活動を充実させています。大半の生徒は大学進学を希望し、文系・理系、国公立・私立大学に対応できるカリキュラムによ



1年生から3年生まで一緒に走る、3年間の学校生活最大のイベント—50km強歩大会



元気いっぱいの体育祭

り進路実績も年々向上しています。

また、今年度の部活動の成績は、全国大会へは常連のレスリング部、ボート部、関東大会へは陸上部、山岳部、バドミントン部等が出場し活躍しました。他の部も関東大会、全国大会出場を目指し、先輩の築いた伝統を更新すべく日々努力を継続しています。定時制は、1日40分授業を4コマ実施しています。ここ数年、専門学校や大学等への進学者も増加し、部活動はバドミントン部やバスケット部等が全国大会に出場し活躍しました。

11月には、校内で1年生を対象とした「OBによる職業別キャリア講演会」を分科会形式で開催しました。講師として警察署、消防署、市役所、病院、IT企業、銀行、証券会社等、様々なジャンルの一線で活躍されている12名の方々の講演を拝聴し、生徒及び職員は実社会での厳しさや責任感を感じることができ、定着した職業別キャリア講演会は同窓生からの貴重な支援となっています。

これからの本校の教職員に課せられた責務は、入学した生徒の可能性を見出し、日々の学習活動・特別活動等を通じて、開校以来継



平成28年度OBキャリア講演会講師の皆様

承している大成会、大成祭、生徒会誌「大成」に共通した、「大成」に込められた社会に貢献できる人材（業績を成し遂げてすぐれた人になること）を育成し世に送り出さねばなりません。

本校は平成28年度に群馬県教育委員会より「探究型教育活動推進事業の推進校」として県内の普通科進学校（8校）の指定を受けることができました。校内組織として「将来構想委員会」を設置し、実現するための全体像を「大成プロジェクト」と称し、本校の育てたい生徒像を「高い志をもち、主体的に学び合い、課題を発見し解決する力を身に付けた、地域社会に貢献できる人材を育成する」としました。今後は「総合的な学習の時間」を中心に、各教科で横断的に生徒の資質及び学力向上を推進してまいります。

結びに、今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援をお願いすると共に、「垣根のない同窓会」を推奨している東京同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

イベント付懇親会を楽しむ

平成28年3月24日に開催した第1回理事会・観校懇親会では、90年の歴史を持つ早稲田大学竹友会（箏・三味線・尺八の古典芸能サークル）OB会会員で、現在はお弟子さんを持って教授をされている4名の方の協力を得て、楽しい演奏会を行った。

我が同窓会会長の鈴木昇氏もOBの一員であり、その縁での演奏

会で鈴木会長も腕前を披露した。

特に、尺八については演奏だけでなく、長さの異なる様々な尺八について、長さの違いによる使用目的や音色の違いなど、実演を交えて披露された。

家族同伴を推奨しているこの会は毎回好評で、次回のイベントは何になるかと話題になっている。



同窓会 仲間の皆さんから

館高同窓会 - 100 年に向かって



館林高校同窓会
会長

前山 秀樹
(昭和38年卒)

「館高東京同窓会会報」第31号の発行誠におめでとうございます。この度の当会報の発行に当たり、原稿の執筆ご依頼を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

東京同窓会の活動は、本校同窓会の要ともいえる存在であり、在京の皆様のご活躍は、まさに本校の名を天下に広く知らしめる源となっております。

また、近年では群馬県内の各高校の在京同窓会との交流も深めており、ますますその成果を広げておられますことに、改めて深い敬意を表したいと存じます。

さて、私は本校昭和37年の卒業です。在学中に印象に残っておりますのは、3年生で在った昭和36年の創立40周年の思い出です。この年、盛大に40周年記念行事が行われましたが、中でも印象深かったのが、現在校歌として歌われている、いわゆる「新校歌」の制定でした。作詞に当たった佐藤春夫氏が来校され、記念講演会も開かれました。実はその内容はあまり記憶にないのですが、詩人として一時代を築いた言葉の巨人の聲咳に接したという感動は、今でも得がたいものであったと思っております。

大学卒業後は群馬県の高等学校教員試験に合格し、その後20年間公立高校の国語教師として勤務いたしました。最後の3年間は母校

の教員として、おもに定時制の勤務でしたが、懐かしい教室で生徒と共に学ぶことができました。在学中の3年間と合わせて6年間の母校での生活は、私の生涯の宝と思っております。昭和61年、かつて館中と言われた頃の卒業生であった父の他界より、教職を辞し、実家である曹洞宗善長寺の住職となり現在に至っております。

ところが、本当に思いもかけず、平成23年の定時総会において、皆様よりのご推薦を賜り、本校同窓会会長に指名されたのです。名誉ある本校の同窓会長にご推挙頂きましたことは、私にとりまして誠に身の引き締まる思いで在りました。

本校同窓会は現在約18,000人の卒業生を擁しており、同窓諸兄はまさに内外の様々な分野で活躍しています。この多彩な同窓生のお一人お一人にとって意義のある同窓会活動とはなにか、会長に就任いたしましてから模索を続けております。

現在、岩瀬前会長の時代より始められました300人規模の定期総会は、毎年11月第2土曜日の開催で定着致して来ております。また同じく全同窓生に参加を募って、毎年5月第2水曜日に開催されるゴルフコンペも、盛況裡に毎年100名を超える参加者が集っております。今後ともお一人でも多くの方が参加されることを願っております。さらに、地元の各支部での活動も活発に催されております。地元には現在8支部がありますが、各支部とも定期総会やゴルフコンペ、グラウンド・ゴルフコンペの開催、支部報の発行等様々な行事を展開しており、年齢の差を越えて交流を深めております。

また、学校への支援や、在校生への支援も

年々充実してきております。館高の象徴とも言える校庭の松林が近年大分枯死したり、樹勢が弱まってきており、これらの伐採や管理の補助に同窓会基金よりの支援が行われております。さらに、在校生には関東大会以上の出場者への激励や受験合宿への一部補助等、なかなか公費からは支出の行き届かない経費への支出等を補っております。

本校もあと5年後の2021年には創立100周年を迎えます。100年という年月は、私た

ちの一生ではとても捉えきれない膨大な歴史の積み重ねであると思います。この100年間の歴史とともにあった本校の在りようを顧みる、貴重な節目と言えます。既に校内では学校長を中心に準備の活動も始まっております。具体的な内容については、今後詳細な検討が行われることとなります。東京同窓会の皆様には、是非とも物心ともに絶大なるご協力を賜りたく、お願い申し上げて結びとさせていただきます。

“一人でも多く参加”へ

館林支部長
遠藤 和昭
(昭和42年卒)



館林支部は、元同窓会会長の岩瀬弥市氏より、『母校のお膝元である館林に支部の結成を検討してはいかがか』との要望が出され、その意向を踏まえて平成21年10月15日に、総員64名の参加により館林支部が発足し、今年で8年目になります。

主な活動は4月の総会・懇親会、9月のゴルフ会の2回です。参加者は、30名から40名の出席があり、60代から70代を中心に親睦を深めています。

運営費については、会費はなく同窓会本部からの助成金5万円で活動しています。総会・ゴルフコンペの通信費、各支部総会の交通費等に使用しています。

支部の事業計画案の第1である「同窓会本部事業への協力・参加」を果たすためには、一人でも多くの会員に支部に参加して

いただくことが活動の第1歩と考え、母校の情報提供を積極的に進めています。

第2の「母校の発展に寄与する事業」は、少子化が進む現在、高校間の競争が厳しくなってきていますので、会員一人一人が積極的に広告塔となって、館高の良い所を中学生とその保護者の人達にアピールし、母校への入学を希望する生徒を増やしていく必要があると思います。

第3の「会員相互の親睦事業（ゴルフなど）」に関しましては、最近では、団塊世代でゴルフを趣味とする方が増えていますので、まずは「ゴルフ親睦会」を最初の事業にと思い、これまで7回のゴルフコンペを行いました。参加者は昭和26年卒から平成6年卒まで、幅広い年代の方々ですので、この交流を広げていこうと思います。

また、『明るく、楽しい』をモットーに、今後は趣味の集まりや懇親会等をとおして、“出席して楽しかった”と思われる支部活動を目指し、若い人たちにも気軽に参加していただけるよう、皆様のご意見を取り入れて行きたいと思っています。先輩・後輩たちと語り合い、同窓会の素晴らしさと本質を再発見する、価値ある同窓会にしたいと思っています。

私も毎年、東京同窓会の総会に楽しく参加させていただいております。今後の館林支部活動に参考になることが多々ありますので、取り入れて行きたいと思っています。東京支部皆様方のご指導ご助言をよろしくお願いたします。

支部結成 73 年目



邑楽町支部長
横山 美樹
(昭和 43 年卒)

平成 26 年度の館林高校同窓会邑楽町支部総会におきまして、大塚孝士前支部長の後を受けて、支部長にご選任いただいた横山と言います。

邑楽町支部結成 10 年の節目に支部長にご指名を賜り、大きな責任と緊張を抱いて現在まで過ごしております。これも結成当時から並々ならぬご尽力をいただいた多くの先輩方のお陰と感謝しております。

さて、館高東京同窓会会報第 31 号の発刊、誠におめでとうございます。貴支部の益々のご隆盛をお祝い申し上げます。東京同窓会の皆様には、鈴木会長さんを中心として、充実

した支部活動を通じた、同窓生としての結びつきをより強くいたしております事に対し、心から敬意とお祝いを申し上げます。

早いもので、館林高校同窓会邑楽町支部が結成され 13 年になりました。邑楽町支部の活動は、①会員への情報発信（会員名簿の作成・配布、会報の発行・配布）、②会員相互の交流と親睦（グラウンド・ゴルフ大会、懇親ゴルフコンペ、囲碁・将棋大会、懇親会）、③同窓会本部、各支部との連携等、の三点を発足以来継承し、実施してきております。

積み上げてきた事業も、会員相互の親睦を深め、交流の場としての役割が果たしているのではないかと、嬉しく思っております。

これもひとえに、地区幹事さんをはじめ、関係役員の皆様たちの並々ならぬご尽力によるところが大きく、感謝しているところであります。中でも、42 名の地区幹事の皆様には、会報の配布や会費徴収等ひとかたならぬご尽力をいただいております。

最後になりましたが、館高東京同窓会の益々のご発展と、会員皆様のさらなる連帯とご活躍をご祈念申し上げ、会報第 31 号の発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

蕎麦が関わる地方の歴史



館泉会（大泉支部）
会長
稲村 一男
(昭和 43 年卒)

大泉町仙石に居住する館泉会の人達 7～8 名で、尾瀬のふもと片品村に、館泉会副会長湯沢さんの親戚の畑を借り、蕎麦会を発足して 10 年位になります。

皆さんの行事が少ない夏場に種を蒔くことにしました。私は夏蕎麦は美味しくないので、と思いました。種を蒔いた後、定期的に草取りなどをして、6 月初旬に蒔いて 8 月の

お盆過ぎに収穫します。蕎麦の生育期間は 75 日くらいと言われます。刈り取りした後、実を干して、その後母校の名誉会長岩瀬弥市様宅にて昔の「トミ」を借りてきて選別し製粉します。

そして収穫祭、また年末には館泉会仙石主催で、館泉会役員と他の支部のゲストを招いて忘年会を行っています。

すべて原始的な作業で作った夏蕎麦が、実に美味しいと評判です。そして今では、地元公民館にて蕎麦打ち講習を頼まれるようになり、今年度は二度ほど行いました。

講師は本部同窓会副会長の岩瀬志郎さんです。水回しから菊ねり、延し、蕎麦切りまで丁寧に指導し、最後に大きな鍋にお湯を沸騰させ、一人前ずつ蕎麦を入れて 45 秒～50 秒くらい鍋の中で泳がせ、最後に冷水に入れて盛り付けします。地元の皆様がとても喜んでいます。

さて夏蕎麦についてですが、畑の管理をお

願っている民宿で、温泉宿の主人に聞くと、昔はすぐお金になるので夏蕎麦を作った、と言っていました。

片品村は山合いの所にて作物は不適切だと思えます。むかし人々の生活は大変苦勞したと思えます。山腹にある集落に登る道端に、40～50 程の小さな石仏の集まりがあります。その中心にひときわ目立つ石仏があり、地元の人達は「味噌舐めババア」と呼んでいます。その石仏の唇に味噌が幾重にもすり込んだ痕

があります。異様な雰囲気があります。

この辺りでは昔、子供を間引きしたとも聞いています。味噌舐めババアがその供養を担ったのでしょう。

蕎麦はなぜ五穀に入らないのか、辞書には米、麦、粟、黍、豆とあります。人によっては、米は神聖な場所に捧げるので五穀に入らないと言う代わりに、稗を入れるにしても、蕎麦は昔から人々の生活を支えてきたでしょう。

回想

板倉支部長
鈴木 攻
(昭和 37 年卒)



今から 55 年前、昭和 37 年 4 月中央大学経済学部に入學しサッカー部に入部した。当時は東京・練馬に合宿所があり陸上部、サッカー部、ラグビー部、馬術部が練習拠点とし寝食を共にしていた。

鉄筋コンクリート 4 階建の立派な建物であった。陸上部の 400 メートルトラック、その隣にサッカーとラグビー共用のグラウンドおよび馬術練習場、その広大な敷地での 4 年間の鍛錬が、その後の人生の大きなバックボーンになっている。

1 年入学時は、関東大学リーグ戦、天皇杯全日本選手権、全国大学選手権と全タイトルを制覇、その名を全国に轟かせた。

希望と期待に胸膨らませスタートした寮生活だったが、強豪校の宿命か練習はもちろん私生活の厳しいこと想像を超えるものだった。

朝 6 時 30 分起床に始まり、夜 10 時消灯まで息の抜けない緊張した毎日であった。一息つけるのは教室のあるお茶の水キャンパスへの往復の時間帯、しかも午前中だけの限られた自由時間があるだけだった。

寮生活における 1 年生の仕事は、部屋の掃除

(1 部屋 4 人)、共通トイレの掃除、廊下の掃除、グラウンド整備、ボール磨き、お茶入れ、先輩のマッサージ等々、今思うと先輩たちの秘書のような役目をしていた。

そして特筆すべきことは、2 年生による鉄拳制裁、同期 13 人の一人でもヘマをすると、連帯責任と称して全員が殴られ 5 日ほど味噌汁が飲めなかった。

あの時代、先輩後輩の誰でもが経験したことでありことさら強調するほどのことは無いが、今振り返ると、よくぞあのシゴキに堪えたものだと感心するものである。

さて、1 年生を無事通過した我々同期は、日々の練習と単位取得に邁進した。2 年、3 年と相変わらず学校への往復とグラウンドの練習および対外試合の繰り返し。同期には傑出した選手はいなかった。1 年上には小城、桑原、1 年下には山口など高校時代から全国に名を馳せた選手(メキシコオリンピック銅メダリスト)達に挟まれ、ある意味肩身の狭い思いがした学年でもあった。

当時最大の目標はリーグ戦優勝であったが、無残にも 5 位、体力、走力が弱かった。夏合宿、グラウンド 20 週のインターバル走を中心にフォーメーションの再確認をする厳しい練習であった。然し、その甲斐あって昭和 40 年の全国大学選手権で見事優勝、中央大学の名誉と伝統を守ることができた。同時に 4 年生としての責任が果たせたことを誇りに思っている。

卒業後、もう 50 年以上経ってしまった。

<p>一般社団法人 日本・ネパール親善協会 会長 株式会社 サービス経済研究所 サービス研人材センター（外国人留学生派遣：ネパール・ベトナム ミャンマー・フィリピン・中国）</p> <p>代表取締役 山岸 正 (36 年卒)</p> <p>〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-14-12 本多ビル 電話 03-5985-4945 FAX 03-5985-4945 E-mail hhe01366@nifty.com</p>	<p>US-Jコネクト株式会社</p> <p>社長 谷田部 勝 (38 年卒) Masaru "Mass" Yatabe</p> <p>202 SE 181 st Ave.Ste.202 Portland, OR 97233, U.S.A 電話 503-912-0613 E-mail myatabe@us-jconnect.com</p>
<p>杉並警友会 会長 プラス株式会社 ショインテックスカンパニー東京支社 東京オフィス環境ソリューション部 部長</p> <p>小倉 巧 (43 年卒)</p> <p>〒196-0002 東京都昭島市拝島町 4-20-23 電話 / FAX 042-546-3806 携帯電話 090-3420-9983</p>	<p>一般財団法人 日本不動産研究所</p> <p>常務理事 業務部長 小林 信夫 (45 年卒) 不動産鑑定士</p> <p>〒105-8485 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビル 電話 03-3503-5336 FAX 03-5512-7320 E-mail nobuo-kobayashi@jrei.jp http://www.reinet.or.jp</p>
<p>BFCA 経営財務支援協会 株式会社エム・エム・プラン</p> <p>代表取締役 杉田 利雄 (46 年卒)</p> <p>〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-9-4 中公ビル 604 電話 03-5367-1558 FAX 03-5367-1668 E-mail sugita@kaikei-web.co.jp http://www.kaikei-web.co.jp</p>	<p>株式会社 ホテル グランドパレス</p> <p>代表取締役社長 河村 博 (51 年卒)</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-1-1 電話 03-3264-1111 (代) FAX 03-3264-5496 http://www.grandpalace.co.jp</p>
<p>医療法人社団 なかにし小児科クリニック</p> <p>中西 茂則 (53 年卒)</p> <p>〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 5-1-8 トーショービル 1F 電話 03-3675-6678 FAX 03-3675-6722 E-mail nakanishi@kids.email.ne.jp</p>	<p>小林公認会計士事務所</p> <p>公認会計士・税理士 小林 功一 (54 年卒)</p> <p>東京事務所 〒123-0851 東京都足立区梅田 8-5-6 電話 03-3880-2187 FAX 03-3880-2138 群馬事務所 〒370-0603 邑楽郡邑楽町中野 3013-14 電話 / FAX 0276-88-1844</p>
<p>豊田通商株式会社</p> <p>化学品・エレクトロニクス本部 本部長補佐 精密無機化学品 SBU 長 兼 機能無機化学品部部长</p> <p>執行役員 神谷 哲也 (57 年卒)</p> <p>名古屋本社 / 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-11-27 電話 052-584-3104 FAX 052-564-1131 E-mail tetsuya_kamiya@toyota-tsusho.com http://www.toyota-tsusho.com</p>	<p>群馬県立館林高等学校東京同窓会</p> <p>副会長・事務局長 谷田部 和之 (35 年卒)</p> <p>〒343-0021 埼玉県越谷市大林 74-5 電話 048-974-6012 FAX 048-974-6680 E-mail kyatabe@ozzio.jp</p>

平成29年度（平成28年10月～平成29年9月）

会費納入者・特別寄付者ご芳名（敬称略）

平成28年12月31日現在

《卒年、氏名(居住地)※昭和13～昭和24までは旧制中学校、④は4年卒》

◆昭13卒：新里武男（豊島区）
◆昭18卒：宮澤春信（横浜市栄区）◆昭19卒：越澤浩（武蔵野市）
◆昭23卒：今西庸也（練馬区）、柿沼七郎（江戸川区）、鈴木敏男（足立区）、角田晋一（蕨市）、奈良高（世田谷区）、松本仁之（流山市）◆昭23④卒：岩崎三樹（大田区）、◆昭24卒：荻野榮蔵（日野市）、小島将男（相模原市南区）◆昭25卒：栗原誠一（横浜市戸塚区）、小暮堅三（江戸川区）、曾根吉道（墨田区）、中村茂八郎（大田区）、宮崎浩（中野区）
◆昭26卒：小林淳一（江東区）、眞下欽一（松戸市）◆昭27卒：荒井昭（練馬区）、石橋松雄（さいたま市中央区）、太田恵一（中央区）、神谷武一郎（久喜市）、齋藤又一郎（埼玉県杉戸町）、永井清司（松戸市）、橋本清（日野市）、葭葉昌司（松戸市）◆昭28卒：荻野秀文（さいたま市岩槻区）、小西正（鎌倉市）、菌部雄作（川崎市高津区）、高際義信（市原市）、米田稔（世田谷区）◆昭29卒：有輪六郎（世田谷区）、岩崎充利（練馬区）、内田耕也（日野市）、大隈清道（船橋市）、宮田秀夫（越谷市）◆昭30卒：内田信也（練馬区）、江原二三男（世田谷区）、大澤敬三（市川市）、塩澤良二（世田谷区）、渋谷恒夫（富士見市）、水野雅昭（神奈川県湯河原町）、吉田善市（春日部市）◆昭31卒：江原富男（八千代市）、大野薫（越谷市）、岡村昌二（川崎市多摩区）、篠木昭夫（文京区）、豊田良夫（江東区）、西田一俊（さいたま市浦和区）、細谷征凱（八王子市）◆昭32卒：羽関勝男（市川市）◆昭33卒：鈴木木勝也（台東区）、田口榮治（荒川区）、

田中富士雄（町田市）、富塚勝男（調布市）、長谷川馨（大田区）◆昭34卒：渡邊紀久治（埼玉県宮代町）◆昭35卒：天谷政幸（龍ヶ崎市）、荒井昭彦（松戸市）、太田勝利（さいたま市大宮区）、大手常勝（白岡市）、神谷宗作（越谷市）、鈴木昇（東久留米市）、武政和夫（所沢市）、谷田部和之（越谷市）、吉澤崇（草加市）◆昭36卒：相澤建志（町田市）、石島正勝（横浜市金沢区）、江森勇（さいたま市北区）、橋本昌博（川越市）、梶目駿英（千代田区）、増尾哲雄（多摩市）、山岸正（古河市）◆昭37卒：大谷義明（板橋区）、正田健一（新宿区）、高橋幹男（さいたま市見沼区）、藤井基且（さいたま市南区）◆昭38：栗原勝雄（府中市）◆昭39卒：栗原彪（府中市）、浜田邦夫（豊島区）◆昭40卒：金子和司（荒川区）、篠崎睦男（横浜市南区）、横山英和（群馬県邑楽町）、渡邊智三（船橋市）◆昭41卒：飯田進（千葉市緑区）◆昭42卒：山崎四郎（川口市）◆昭43卒：小倉巧（昭島市）、内田茂（久喜市）◆昭44卒：野村茂雄（文京区）◆昭45卒：川嶋新一（足立区）、小林信夫（品川区）、関口勝（練馬区）、原四郎（板橋区）、三井祥正（柏市）村上慎一（千葉市中央区）◆昭46卒：相川敏雄（館林市）◆昭47卒：江森孝至（川崎市宮前区）◆昭48卒：神山政明（清瀬市）◆昭49卒：飯塚清（鎌ヶ谷市）、齋藤文雄（神奈川県開成町）◆昭51卒：河村博（世田谷区）、松島孝行（船橋市）◆昭52卒：田口良二（新宿区）、山田仁一（横浜市戸塚区）◆昭53卒：中西茂則（江戸川区）◆昭54卒：小林功

一（足立区）、中野栄一（新宿区）
◆昭55卒：小林寛幸（市川市）新藤進（新宿区）◆昭57卒：神谷哲也（川崎市宮前区）◆昭61卒：深町司（横浜市金沢区）◆平7卒：大輪浩幸（荒川区）

特別寄付者氏名

◆昭13卒：新里武男（豊島区）
◆昭23④卒：岩崎三樹（大田区）今西庸也（練馬区）◆昭25卒：小暮堅三（江戸川区）、中村茂八郎（大田区）◆昭27卒：荒井昭（練馬区）、葭葉昌司（松戸市）◆昭28卒：荻野秀文（さいたま市岩槻区）、米田稔（世田谷区）◆昭29卒：内田耕也（日野市）、茂木正次（市原市）◆昭30卒：吉田善市（春日部市）◆昭31卒：豊田良夫（江東区）、西田一俊（さいたま市浦和区）◆昭33卒：鈴木勝也（台東区）、田口榮治（荒川区）、富塚勝男（調布市）◆昭34卒：渡邊紀久治（埼玉県宮代町）◆昭35卒：荒井昭彦（松戸市）、太田勝利（さいたま市大宮区）、神谷宗作（越谷市）、鈴木昇（東久留米市）、谷田部和之（越谷市）、吉澤崇（草加市）◆昭36卒：相澤建志（町田市）◆昭39卒：浜田邦夫（豊島区）◆昭40卒：篠崎睦男（横浜市南区）、横山英和（川口市）◆昭43卒：小倉巧（昭島市）◆昭45卒：原四郎（板橋区）◆昭52卒：山田仁一（横浜市戸塚区）◆昭53卒：中西茂則（江戸川区）◆昭55卒：新藤進（新宿区）◆昭57卒：神谷哲也（川崎市宮前区）

年会費納入のお願い

平成29年度（平成28年10月～平成29年9月）の年会費3,000円を未納の方は、①氏名、②卒業年、③住所・TEL、を明記していただき、下記口座に送金をお願いいたします。

・郵便振替 加入者名 館高東京同窓会
口座番号 00160-8-773981

ゴルフ部会

和気藹々 15名が腕自慢

ゴルフ部会（中村茂八郎部会長）は、平成28年11月10日埼玉県上尾市の大宮ゴルフコースを舞台に開催された。

朝のスタート時、季節を先取りしたような冷たい風が強く吹く中で始まったが“風にも負けず”の意気で、参加者はいそいそとクラブを振った。

参加者を募った当初は、5組20名の参加申込みがあったが、前日の天気予報で、冷たい風で一足早い冬の気候になると報道されたことから、風邪気味なので取り止める、家族に病人が出て参加できない等々の連絡が入り、15名のコンペになった。

参加者は昨年、一昨年とプレーしているコースなので、「勝手知った」とばかりに得意クラブを手にコースを攻略。同コースの名物となっている、フェアウェイに飛んだボールを「啜えて持ち去る」カラスが今回もプレーを邪魔し、盗られた人は「あーあ、ニューボールなのに」と嘆く場面など、爆笑プレーもあったコンペだった。

優勝は参加者中最長老の昭和25年卒の荒井昭氏、ベストグロスは29年卒の中村貞夫氏と、80歳を超す先輩達に脱帽の参加者であった。

- ・優勝 荒井 昭 91打 NET 69.4
- ・準優勝 相澤 建志 90打 NET 72.0
- ・第3位 西田 一俊 101打 NET 74.6
- ・ベストグロス 中村 貞夫 88打



おしらせ

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

（平成28年9月以降に連絡のあった方）

◆昭和23年卒：小林友四郎◆昭和24年卒：立石稔◆昭和25年卒：高澤俊夫◆昭和26年卒：神谷喜一、鈴木良夫、関口春也、横関隆一◆昭和28年(定)卒：岩崎弘◆昭和28年卒：荒井良明、荒木伸、高際義信、吉田満◆昭和31年卒：宇木真◆昭和35年卒：今成司、小島光徳

観桜懇親会のご案内



日時 平成29年3月25日(土)
午前11時～

会場 ホテル グランドパレス
1F 137号 加7 個室

交通 東京都千代田区飯田橋 1-1-1
東京メトロ 東西線、都営地下鉄 九段下駅下車3分
JR総武線飯田橋駅下車5分

参加費 1人6,000円(当日受付)

ご家族同伴の場合は2名で10,000円

催し METT管弦楽団コンサートマスター斉藤寿良氏を中心とした弦楽トリオ（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ）による演奏会。

お申込み：氏名、卒業年、住所、電話番号、1名参加か2名参加かを記して下記へお申し込みください。

館高東京同窓会事務局

〒343-0021 越谷市大林74-5 谷田部 和之

FAX 048-974-6680

E-mail kyatabe@ozzio.jp

編集後記 東京同窓会は卒業して間もない人から半世紀が過ぎたという方々まで、多様な年齢の人で構成されています。こうした会員の多くが、日常の諸々にかまけて、母校に想いが至っていないのが実態でしょう。母校は間もなく開校100周年を迎えようとしています。群馬県下でも1世紀の歴史を持つ学校は多くありません。今、開校100周年記念事業の準備が各方面で始まりました。今号では、高橋俊雄校長、前山秀樹同窓会長にそれぞれのお立場から母校の今とこれからのについて執筆していただきました。母校100周年事業を実りあるものにするために東京同窓会も力を合わせて努めていきたいと思います。

同窓会の活動に参加する会員の多数の方が年会費未納のままこの会報を受け取っています。「送られてくるから」ということなのでしょうが、年会費未納者が多いことから今回、会報送付先の見直しを行いました。基準は80歳を超す首都圏在住者で5年以上年会費未納者への送付を止めました。100周年を迎える母校、それを支える同窓会、会報や会合参加による故郷の情報、同級生の動静、等々知りたいこと、懐かしい思い出に触れる機会を失う・・・良いのでしょうか。会費納入にご協力お願いします。(Y)